

塾長の独り言 NO72 H18 .12.14.

地球温暖化、対策をどうするの？」

～～部分最適から全体最適に！～～

昨日の産経新聞の記事のトップで、地球温暖化の衝撃的なニュース、地球温暖化によって、北極の氷が薄くなってきています。

2040年になると、北極海の夏の氷は、ほぼ消滅することになるという予測が出ました。米国立大気研究センター（NCAR）の研究チームによる試算結果です。以前の予測は2070年頃でしたから、随分（ずいぶん）早まりました。氷が溶ければ、海水の塩分濃度が薄くなります。そして比重が軽くなって、海流に変化が起きます。その結果、地球環境はますます乱れることになるでしょう。

もっとすごいのは、10年後には、北極海の氷が、3分の1になるとスーパーコンピューターが予測しています。

どうなるのだろう！

「部分と全体の関係」

部分が自己の利益だけを推し進めると、全体が部分を消滅させる行動に出ると哲学的に考えられています。

つまりは、人類が自分中心のエゴ丸出し、部分最適で行動してきた結果、地球という全体が部分という人類を消去する行動に出てくる、ということです。

家庭でも企業という組織でも同じことが言えます。

個人が家庭を大切にしないと、家庭崩壊になる。

個人がその所属している企業という組織を大切にしないと、組織は崩壊する。

個人が日本という国、地球を大切にしないと、大きなしっぺ返しがある。

まさに、自己都合の主張しかしない「がん組織」と同じです。

その「がん組織」は、全体の人間の身体を消滅させる結果を招きます。

「関係性」

全ての個は、全体という関係性の中で生きている。

いつの間にか、その重大な事実を忘れていた人間というおろかな動物。

人という高等な生き物は、「未来に希望を持って」生きているものではないでしょうか？

「希望がなければ、人は生きていけない！」

<コメント>

ラグビーでも「人は全体の為に、全体は一人の為に」

人間は全体と部分の関係性の中で、生きているものです。

自己の利益ばかりを考えるのではなく、全体に貢献することによって、部分である自分が生きてくる。

自己の利益を優先すると、いつかは全体から抹消される運命となるのですね。

家庭でも、企業の中でも、どんなことで自分自身が貢献できるのか？今一度、じっくり考えれば地球温暖化という現象が我々に教えているのではないのでしょうか？